

NPO 京都コミュニケーション放送 第 96 回 番組審議会 議事録

開催日時：2015 年 11 月 17 日 (火) 10：00～11：30

会場：烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：6 人 欠席：1 人

出席委員：山本時子 中村正 福井秀彦 岡本卓也 松浦さと子 ジェフ・パークランド
欠席委員：竹下清

局側委員：町田寿二、松岡千鶴

(順不同敬称略)

ゲスト： じてんさん (伊藤優子さん)

審議番組：「じてん de さぶらう」(毎週水曜日 17：00～7：03 放送)

アナウンサー スクール MNNE に通う京都 1 期生の「じてん」さんが、日常生活の中でふと気に止まった物事、感じたことをトークする番組。

「十人十おく色♪」(毎月第 1 月曜日 19：00～19：06 放送)

2015 年 11 月放送の番組を試聴して審議に入った。
「じてん」さんが「話す」事にこだわっている人たちの様々な目線を聞きだしていく番組

■ 番組審議

伊藤さんから「じてん de さぶらう」の説明があった。

伊藤さんが通うアナウンサースクールの意向で、ご自身の目線を生かした 1 人ししゃべりの番組としてスタートした。

審議委員の意見

- ・「ローカルはグローバル」の典型のような番組。
- ・標準語と関西弁、両方あるのはリアルな感じで良い。
- ・ラジオで京ことばを聞く機会が少ない。全部、京ことばでも良いのではないか。
- ・原稿は自分で書いているのか？大変なのでは？
- ・余り前に準備すると自分自身が飽きてしまうので準備は 2,3 日前にする。(伊藤)
- ・3 分番組の理想的な形。標準語と京ことばを使い分けているのは、メリハリがきいて良い感じ。BGM が少し重い印象。和風の音楽が良いかもしれない。
- ・今回の話題である「チャイナ服を着て出かける夜(チャイナイト)」をイベントとして広げることが出来るのではないか。
- ・3 分という時間の可能性を感じる番組。

伊藤さんから「十人十おく色」(じゅうにんとおくいろ)の説明。

ご自身を通うアナウンサースクールの意向でゲストとのトーク番組としてスタートした。今回の番組は時間が予定以上に余って、自分としては失敗したと思っている。

審議委員の意見

- ・時間配分が上手くできている。失敗ではないと思う。
 - ・マイクの位置が気になった。ゲストの声が目立っていた。
 - ・アナウンサー同士の会話のようでも運転手が 2 人いるという感じ。堅苦しい印象。失敗があつて逆にホッとした。音楽のテンポが重い。ゲストによって変えても良い。
 - ・話し方を勉強している 2 人なので聞き易い。ハプニングは失敗ではない。
- 番組終了 10 秒前にゲストの感想を聞いたのは良かった。

審議委員の意見の続き

- ・内容の全てが準備され作られていると面白くない。
- ・聞いた後に疲れを感じない番組。聞きたい番組でも疲れる番組がある。
- ・この世代の女性が声を出す機会が少ないので、素晴らしい番組だと思う。品があってチャームिंगな話し振りだと感じた。
- ・どこまで台本通りに話しているのか気になる。1人しゃべりの番組は、自然な話し方だったが、ゲストとのトーク番組の方は質問と答えが用意されている感じがした。予定通りに進め、自然に出るはずの質問が出来ていないのではないか。
- ・突発的に起こることの方が本当の自分に近く、親近感を覚えるのではないか。
- ・アナウンサーで学んだ効果を番組で表現するのは大変。使命感を感じた。
- ・先生からは自由にして良いと言われている。質問を準備しないでおこうかとも思う。
(伊藤)
- ・質問を1つだけ決めておくのも良いかもしれない。
- ・練られた良い番組だと思った。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2015年11月25日から事務所で見ることができるようにした。
この審議会の議事録は2015年11月25日からホームページで公開した。